

平成26年度 学校自己評価表

鳥取県立米子高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	生徒の個性・能力の伸長をはかりながら、確かな学力と豊かな人間性の涵養に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。	今年度の重点目標	1 確かな学力の育成 2 豊かな人間性の育成 3 自己実現のための進路指導の充実 4 地域との連携による学校づくり
-------------------	--	----------	--

評価項目	現状	具体項目	具体目標	具体方策	中間評価	評価に対するコメント	最終評価
1 確かな学力の育成	『学び』創造委員会で育成したい学力の目標を「主体的に学び、考え、表現する力」とし、ブレテーマ学習・テーマ学習の実践とともに授業改善の取組も始めた。今後、目標実現のため更なる取組の推進が必要である。	学力の定着	1単位39時間の授業時間を確保する	年間行事予定を守り、急な授業カット・短縮授業を削減			
			組織的、計画的に授業改善を推進する	教科会や授業公開週間での授業研究の推進 年1回の授業評価(アンケート)の実践			
			実習や活動を通して系列の充実を図る	教科会の定例化と学習委員会での内容検討を充実 保育施設実習・介護施設実習の実施			
				野外(体育)実習の実施			
				英語での多読指導の導入			
			発展的学力を支援する	講習の実施と内容の充実			
		思考力、判断力、表現力の向上	資格取得を推進し、前年超の取得者を出す	受験者増のため各種検定試験の案内を周知 合格者増のためのきめ細かい受験指導			
			課題解決能力育成のためテーマ学習とブレテーマ学習の充実を図る	有識者講演会、社会人講話の実施 受験も視野に入れたプレゼンテーション力の育成 学習成果発表会の開催			
				『学び』創造委員会をベースにした実践公開の活性化 ジグソー理論を含む学習理論研修への参加促進			
			小論文の指導力向上を図る	外部講師による研修会と校内研修会の実施			
			外部指導者を利用して表現力の育成を図る	デッサン講習会の開催 国語「自己表現」での社会人講師の導入			
		困り感のある生徒の指導	生徒情報を共有し適切に生徒をサポートする	教育相談部主催の情報交換会の開催 いじめ対策委員会の定期的な開催			
			実効的な特別支援体制を維持	特別支援委員会の適時開催と適切な対応			
2 豊かな人間性の育成	「基本的な生活習慣の確立」は遅刻者の減少など着実に成果をあげており、今後さらに継続する必要がある。また、生徒会、部活動、環境、国際理解などへの参加は、主体性のある人間性を育成する意味で、今後益々重要になってきている。	規律指導	遅刻者数の更なる削減を図る(前年比30%減)	朝の校門指導の実践 多遅刻者への事後指導の徹底			
			正しい服装の着こなし指導の徹底を図る	着こなしセミナーの実施 生活指導部発信の全職員による指導の推進			
			あいさつ習慣を定着させる	マナーアップキャンペーン、あいさつ運動の展開			
		環境教育	環境に対する関心の育成	TEAS活動の推進、環境講演会の実施			
		生徒会活動と部活動の活性化	生徒会主催行事満足度80%以上を維持する	執行部会の実動と、学校祭等への主体的取組の促進 特別支援学校との交流活動			
			部活動加入率80%以上を維持する	1年生への部活加入調査の実施、見学日程の周知、工夫を凝らした部紹介と一斉部登録の実施			
		読書のすすめ	確実な一斉読書体制の維持	朝読書時の指導体制の改善			
		国際理解教育	国際交流事業を促進する	韓国での海外研修の実施 アメリカSTA高校への研修派遣			

評価基準 A: 目的・目標を達成した B: ほぼ計画(予定)どおり推進している C: 取り組みとしてはやや遅れている(取組は進めたが、成果が出ていない) D: 一層の(新たな)取組が必要

平成26年度 学校自己評価表

鳥取県立米子高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	生徒の個性・能力の伸長をはかりながら、確かな学力と豊かな人間性の涵養に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。	今年度の重点目標	1 確かな学力の育成 2 豊かな人間性の育成 3 自己実現のための進路指導の充実 4 地域との連携による学校づくり
-------------------	--	----------	--

評価項目	現状	具体項目	具体目標	具体方策	中間評価	評価に対するコメント	最終評価
3 自己実現のための進路指導の充実	「進路実現」において安易なものから、身の丈の少し上にチャレンジする傾向が現れてきたことで、生徒の可能性をきちんと把握し伸ばす指導力が求められている。	キャリア教育の推進	産社の取組みの充実	学びEXPO(社会人講話、学校・事業所見学)の展開			
		進路指導の充実	進路探究心の育成	進路講演会の実施			
			適切な科目選択指導	教員間の情報交換と十分な面接時間の確保			
			教員の指導力向上	先進校視察の実施			
			進路情報の発信	進路だよりの刊行			
			チャレンジする姿勢づくり	校外模試の実施と受験の促進			
			組織的な進路指導体制の構築	進路情報交換会の開催と活用			
4 地域との連携による学校づくり	「地域貢献活動」は自分たちの活動を発信するだけでなく、地域の人々との関わりを持ち、地域への感謝を表す場となる必要がある。	地域貢献と社会参画	地域の美化に貢献する	コスモスロード、通学路清掃の実施			
			社会とつながる教育	法や金融等の専門家による講演会、出前授業等の推進			
				テーマ学習での中心市街地活性化計画への参加			
		情報発信	教育活動を常時発信する	ホームページの頻繁な更新			
			特色ある芸術教育を発信する	総合美術展の開催			
		近隣の公民館、中学校、施設との連携	文化部活動のアピールを推進する	パフォーミングアーツの開催(演劇・ダンス・吹奏楽)			
				ハイホットダンスフェスティバルの開催(ダンス)			
				成実公民館祭、尚徳地区生き生きフェスタ等への参加			